

TOPIC
16
10
13

全道大会での健闘を誓う

小学生バドミントン全道出場報告会

北海道小学生バドミントン大会（10月16日～岩見沢市）の出場報告会が役場で行われ、白糠小学校の五十嵐悠真君（4年）と松下一誠君（5年）、田中涼晴君（6年）、庶路学園の木下晴楽さん（6年）が川島眞澄教育長に健闘を誓いました。

田中君は「全力を出し切りたい」、五十嵐君は「一試合でも勝てるよう頑張ります」、木下さんは「小学生最後の大会なので、全国を目指します」、松下一誠君は「優勝できるよう頑張ります」と意気込みを語りました。



前列左から田中君、五十嵐君、松下一誠君、木下さん



火ばさみとゴミ袋を手にゴミを拾う参加者たち

TOPIC
13
10
12

クリーン作戦で恋問海岸のごみ拾い

自然の番人宣言クリーン作戦

「自然の番人宣言」の趣旨に賛同し、認定を受けた15企業の職員約100人が「自然の番人宣言クリーン作戦」と題して、恋問海岸のごみを拾い集めました。

約1時間かけて燃えるゴミ870kg、燃えないゴミ270kgを拾い集めました。認定企業は次のとおりです。
大前技建工業 菊地建設 協和総業 釧路信用金庫 白糠森石油 新生建設運輸 北興建設 エコテック 山際建設 山田水道機工 高原重機 森江建設 八百坂建設 山根土建 藤田建設



伊深支部長(左)と照井副支部長(右)から酪農を学びました

TOPIC
17
10
15

酪農を知ることができて楽しかった

白糠小4年生が酪農学ぶ

白糠小学校の4年生22人は「総合的な学習の時間」の授業で「酪農」について学びました。

授業では、釧路丹頂農業協同組合青年部音白支部の伊深祐樹支部長と照井優副支部長から、牧場での仕事内容や牛乳ができるまでの流れなどを教わりました。

児童たちはメモを取りながら「牛のタグは何のために付いているのですか」などと質問。酪農の話に興味津々でした。武田詩織さんは「酪農のことを知ることができて、とても楽しかった」と話していました。

TOPIC
14
10
12

図書を通じて食育活動 酪農に関心を

釧路丹頂農業協同組合が図書寄贈

釧路丹頂農業協同組合の青年部と女性部は、町内の全小学生に図書239冊を寄贈しました。

寄贈された図書は、しゃん絵本作家キッチンミノル氏の「たいせつなぎゅうにゅう」です。

この日は役場で寄贈式が行われ、伊深祐樹副部長と澁谷幸子女性部副部長が川島眞澄教育長に図書を手渡しました。伊深副部長は「子どもたちが酪農に関心を持つきっかけづくりができれば」と話していました。

寄贈された図書は同日、小学生に配布されました。



町からの感謝状を手にする伊深副部長と澁谷女性副部長

TOPIC
18
10
18

健康づくり 明治安田生命と連携

寄付贈呈式・健康増進連携協定締結式

明治安田生命保険相互会社から健康づくり対策に活用してほしいと15万1千円の寄付をいただきました。また同社と健康増進に関する連携協定を締結しました。

この日役場で「寄付贈呈式および健康増進に関する連携協定締結式」が行われ、釧路支社の落合一美支社長が棚野町長に寄付目録を贈呈。その後、締結式が行われ、棚野町長と落合支社長がそれぞれ協定書にサインしました。今回の協定により、健康づくりのイベントやセミナーなどが共同で実施できるようになります。



協定書を手には棚野町長と落合支社長(右)



サケのさばき方を教わる参加者

TOPIC
15
10
13

サケを一本無駄なく調理

アイヌ料理講座

教育委員会主催の「アイヌ料理講座」がウレシパチセで行われ、6人がサケを一本使ったアイヌ料理に挑戦しました。

講師は、白糠アイヌ文化保存会の磯部恵津子会長と会員の時田和江さん。参加者はサケのさばき方を教わりながら「あら汁」「切り身」「イクラのしょうゆ漬け」の3品を作りました。

磯部会長は「サケは切り身の中まで入るように塩をつけ、ぬめりをとることが重要」と話していました。